

顎顔面口腔領域病変の組織学、細胞学および分子病理学的解析

1. 研究の対象

2030年3月末までに当院で組織診または細胞診を受け、診断・加療された方

2. 研究目的・方法

顎顔面口腔領域には、様々な病変が発生します。希少疾患や診断に難渋した症例について、診断精度の向上や予防・治療のための病因・病態理解のために、診断に用いた残余検体を用いて解析を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：病理組織パラフィンブロック、液状化細胞診検体（残余検体）

情報：年齢、性別、病歴

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：研究責任者

吹田市山田丘1-8

大阪大学歯学部附属病院 検査部 大家香織

(06-6879-2272)